

第9回 全国施設管理者等研修会 開催要項

研修会メインテーマ

「重い障害のある子ども達への支援」

～「医療的ケア児」支援の制度化を受けて～

- 1 趣 旨： 在宅で育つ重い障害のある子どもの増加に対応して、児童福祉法には「医療的ケア児」という呼称が登場し、さまざまな新規事業が計画されている。また児童発達支援の領域では、外出が困難な子どもを対象として「居宅訪問型児童発達支援」が事業化され、福祉型・医療型を問わず発達支援を担う事業所には、施設や保育所等の事業所だけでなく家庭においても発達支援を提供することが求められる時代となった。

今回の研修会は、重い障害のある子どもを中心に、これからの発達支援について全国児童発達支援協議会の加盟施設および全国の在宅障害児童の支援にかかわるセンター・事業所を管理・運営する者がともに考える場とする。

- 2 主 催： 一般社団法人 全国児童発達支援協議会
- 3 後 援： 厚生労働省(予定)
- 4 日 時： 平成30年2月16日(金)～17日(土)
- 5 会 場： 横浜市 (はまぎんホール ヴィアマール)
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-1-1 横浜銀行本店ビル
電話 045-225-2173
- 6 定員： 350名
- 7 対 象： 児童発達支援センター(福祉型 医療型)および
児童発達支援事業、保育所等訪問支援事業、放課後等デイサービス事業
障害児相談支援事業、等の発達支援の管理・運営に携わる者
- 8 参加費： 研修会 全国児童発達支援協議会 加盟施設 10,000円
非加盟施設 25,000円

情報交換会 6,000円

担当理事： 岸 良至、宮田広善、橋本伸子
金沢京子、水流かおる、松本知子
事務局 〒123-0851 東京都足立区梅田 4-12-15
酒井康年
Email: office@cdsjapan.jp
事務手続き→(株)日本旅行
E-mail: cdsjapan@nta.co.jp
電話: 092-451-0633

研修会プログラム

【2月16日(金)】

12:00～ 受付開始

12:30～ 開会式

12:45～13:45 **CDS Japanからの報告**
・児童発達支援ガイドラインについて
・実態調査の進捗報告

13:45～15:00 **行政説明**
厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部
障害福祉課 障害児・発達障害者支援室
室長 三好 圭 氏

〈15分 休憩〉

15:15～17:00 **基調講演**

「障害のある子どもが地域で育つために私たちができること・すべきこと」

講師 鳥取県シニアディレクター 北原 侑 氏

[17:30～ 情報交換会：ランドマークタワー25F]

【2月17日(土)】

9:00～12:00 **シンポジウム**

「重い障害のある子どもへの『居宅訪問による支援』を考える」

進行 光真坊 浩史 氏 品川区立品川児童学園 (CDS Japan 理事)
コメンテーター 北原 侑 氏 鳥取県シニアディレクター

9:10-10:20

シンポジスト

医療の立場から	宮田 広 善 氏 (CDS Japan 理事) 姫路聖マリア病院 重度障害総合支援センタールルド
行政の立場から	内山 博 之 氏 厚生労働省 社会援護局 障害保健福祉部 障害福祉課長
訪問看護の立場から	谷口 由紀子 氏 淑徳大学 看護栄養学部 看護学科 助手
教育の立場から	井上 みどり 氏 千葉県立柏特別支援学校 主幹教諭

〈20分 休憩〉

10:40-12:00 **討 論 「居宅における支援・届けたい支援」**

[12:00～13:15 昼 食]

13:15～14:45 **記念講演**

「障害のある子どもが過ごしやすい地域づくりのために」

～医療ケアの必要な子どもの観点から～

講師 総務大臣 野田 聖子 氏
司会 北川 聡子 氏 (CDS Japan 副会長)
むぎのこ児童発達支援センター

14:45～15:00 **閉会式**